

扶桑町教育大綱（案）に関するパブリックコメント（意見募集）の結果について

令和3年2月24日

総務部政策調整課

扶桑町教育大綱（案）について、令和2年12月7日から令和3年1月5日までの期間、ご意見を募集したところ、3件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見とそれに対する考え方について、以下のとおりとりまとめましたので、公表します。

なお、ご意見につきましてはいただいた文面のまま記載しています。ご意見をお寄せいただきました皆様にお礼申し上げます。

番号	ご意見	ご意見に対する考え方
1	自然とのふれあいを通じて子供たちが学ぶことを推奨します。それによりいのちの大切さを育むことができます。	自然とのふれあいを通じての学びから、いのちの大切さを育む教育は、教育の根幹です。 重点目標の「新しい時代の学校教育に向けて」の中に、「個々の特性を尊重し自尊感情を高める教育活動を推進し、自他を大切に子どもを育てます」と示しており、この中で、教育の根幹に触れております。 いただいたご意見の趣旨はこの中に含まれておりますので、ご理解をお願いします。
2	子供たちがお年寄りたちと交流することにより、おたがいに学ぶことがあるのではないかと思います。	基本方針2で「郷土を愛し、まちの未来を見つめる次代の育成を地域とともに推進します」とあり、重点目標の中でも「まちぐるみで次代を育成する」ことを謳っています。多世代間交流はこの中の一環として位置づけておりますので、ご理解をお願いします。
3	教育大綱として「多様性」も keyword と捉える。冒頭「改定にあたって」の項で書き添えてはと思います。	多様性の理解は大切なことと考えますので、「多様性の理解」として文言を追加します。